

第117回ナノサイエンスデザイン教育研究センター運営委員会議事要旨

開催日時：令和4年3月8日（火）15：30～16：45

開催方法：Webexによるオンライン会議

出席者：藤原委員長（工）、宮坂（基）、吉田（産）、竹田（ナノ）、伊藤（ナノ）、中澤（理）、松野（理）、岡山（医：代理）、尾崎（工）、森川（工）、酒井（基）、芦田（基）、井上（生）、谷口（産）、節原（接）、斗内（レ）、藤岡（ナノ）

オブザーバー：飯島（学位）

連絡事項

委員長から、前回（1月14日）開催の第116回運営委員会の議事要旨（案）については、各委員に意見照会し、特に意見がなかったことから、資料2のとおり確定した旨の報告があった。

【報告事項】

1. 令和4年度社会人教育第19期生応募状況について

委員長、伊藤委員及び藤岡委員から、資料3に基づき、令和4年度社会人教育第19期生の応募状況について報告があり、併せて各委員に対し締切（3/15）までの受講生呼びかけについて協力要請があった。

2. 社会人教育第18期生修了式・第19期生開講式（4/1）の規模縮小について

委員長から、4月1日に開催予定の「社会人教育第18期生修了式・第19期生開講式」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から規模を縮小して、資料4のとおり第19期生に対する履修ガイダンスおよび特別講義のみとした旨の説明があった。

3. 第4回ナノ理工学情報交流会（3/2）の開催結果について

委員長から、資料5に基づき、3月2日にオンラインとの併用で開催した「第4回ナノ理工学情報交流会」の参加人数等について報告があった。

4. 大学院副専攻・高度副プログラム紹介ハンドブックの作成について

委員長から、学生・教職員への配布用として、大学院副専攻・高度副プログラム紹介ハンドブックを作成した旨の報告があった。

5. 令和4年度副専攻・高度副プログラムの説明会について

委員長から、資料6に基づき、オンデマンドで実施予定の令和4年度副専攻・高度副プログラムのガイダンスに関する説明、並びに関連研究科での新入生ガイダンスにおけるナノプログラムの紹介に関する協力要請があった。

6. 令和4年度予算について

委員長から、資料7に基づき、令和4年度の予算と今後の見通しについて説明があった。

7. 令和5年度概算要求について

委員長から、大学本部の概算要求に参画予定である旨報告があった。併せて、資料8に基づき、新しい学内予算である部局運営活性化事業及び重点推進事業については関連部局と連携して獲得を目指す旨報告があった。

8. 国際交流委員会委員について

委員長から、本センター選出の令和4～5年度国際交流委員会委員について、出口委員に交代願う旨の報告があった。

9. ASEAN Joint Workshops（3/24）の開催について

委員長及び伊藤委員から、資料9に基づき、ASEAN研究者・学生交流プロジェクトの一環として、ベトナム科学技術院物質科学研究所(VAST-IMS)・マレーシア科学大学(USM)・INSO合同のワークシ

ヨップをオンラインで開催する旨の報告があった。

10. センター規程の改訂について

委員長から、資料10に基づき、センターの名称変更に伴う規程改正について報告があった。

11. その他

1) 年度計画達成度評価シートの部局分提出について

委員長から、本部から依頼があり次第、令和3年度の部局年度計画達成度評価について、センター長および副センター長で構成する達成度評価委員会で検討のうえ、作成した同シートを次回運営委員会で報告する旨の説明があった。

2) 一部の実習装置の課金制度実施について

委員長から、一部実習装置の有料化を実施しているが、新たにクリーンルーム入室料を一部改訂予定であること、及び業務代行料の設定を実施した旨説明があった。併せて装置の共同利用について広く案内していただくよう協力依頼があった。

3) 教員（特任助教（常勤））の公募について

委員長から、資料11に基づき、特任助教（常勤）の公募について候補者推薦への協力依頼があった。

4) 補正予算について

委員長及び伊藤委員から、令和3年度補正予算「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」の公募結果についてまだ未達である旨報告があった。

5) 社会人教育プログラム受講生を対象とした相談窓口の開設について

委員長及び竹田委員から、資料12に基づき、社会人教育受講生向けの相談窓口を開設したことについて報告があり、活動にぜひご賛同いただきたい旨協力依頼があった。

6) フルオンライン実習の実施とその結果について

委員長及び竹田委員から、今年度試行的に実施したフルオンライン実習の実施内容とその成果について報告があった。

【審議事項】

1. 教員人事について

委員長及び伊藤委員から、資料13に基づき、令和4年度の特任教員（非常勤）、招へい教員（追加分）および兼任教員について説明があり、審議の結果、承認された。

2. 令和4年度センター運営委員会委員等について

委員長から、資料14に基づき、令和4年度の本運営委員会委員について説明があり、審議の結果、承認された。また、委員長から、竹田委員、伊藤委員、および中澤委員に副センター長の継続を、出口委員、谷口委員に新たに副センター長への就任を依頼したい旨提案があり、互選の結果、承認された。

3. 令和3年度大学院前・後期課程プログラム修了認定について

委員長から、令和3年度大学院前・後期課程プログラム修了認定について、所属本専攻の修了認定が現時点で確定していないことから、本プログラムの修了認定及び修了認定証授与に関しては、センター長一任で行いたい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

また、本プログラムの修了認定、並びに来年度在学生の修了資格取得者リストを含めて、次回の本委員会にて報告する旨、併せて説明があった。

4. 令和3年度社会人教育第17期生と第18期生（科目等履修生）の修了認定について

委員長から、資料15に基づき、令和3年度社会人教育第17期生と第18期生（科目等履修生）の

修了認定について説明があり、審議の結果、承認された。

5. 令和4年度社会人教育第19期生（科目等履修生）の入学許可について

委員長から、令和4年度社会人教育第19期生（科目等履修生）の入学許可について、3月15日の第2期募集締切り後に入学判定を行うため、センター長に一任願いたい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

また、入学者のリストについては、次回の本委員会にて報告する旨、併せて説明があった。

6. 博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース（令和4年度秋入学）募集要項について

委員長及び伊藤委員から、資料16に基づき、各研究科の承認を得た後に公表予定である博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース（秋入学）募集要項（案）について説明があり、審議の結果、承認された。

7. その他

1) 運営委員会の開催日程

委員長から、資料17に基づき、令和4年度の本委員会開催予定日について、原則毎月第2火曜日とし、重要な議題がなければ偶数月は休会するとともに、5月と11月は対面で、それ以外はオンライン開催とする旨の説明があり、異議なく承認された。

議事の最後に今年度をもって委員会を退任される松野委員及び飯島オブザーバーから挨拶があった。